

山口県警察における速度管理指針

速度管理指針の必要性

この指針は、最高速度違反取締り等の街頭活動、道路管理者と連携した安全な道路交通環境の整備等による路線全体の速度抑制対策を推進する上での考え方を県民の皆様と共有するため取りまとめたものです。

山口県の交通事故情勢

【交通事故の発生状況】

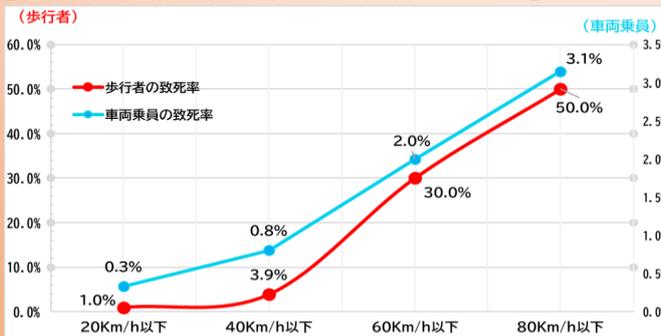
区分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数		
			重傷	軽傷	合計
令和7年	2,280	31	428	2,283	2,711
令和6年	2,152	51	454	2,081	2,535
増減数	128	-20	-26	202	176
増減率	5.9%	-39.2%	-5.7%	9.7%	6.9%

○ 死者数、重傷者数は減少したが、発生件数、負傷者数は増加

【規制速度を超過^{※1}した人身事故の死亡事故率】(R5～R7)

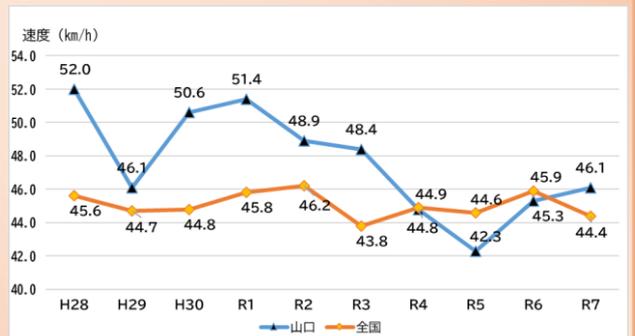


【危険認知速度と歩行者・車両乗員の致死率】(R5～R7)



○ 速度が40km/hを超えると歩行者の致死率は急激に上昇

【死亡事故第一当事者平均危険認知速度】



○ 令和7年は全国平均を上回る46.1km/h

※1 危険認知速度が規制速度を上回った当該事故

危険認知速度とは、車両の運転者が事故の相手方を発見し、ブレーキやハンドル操作などの回避措置を執る直前の速度

速度管理の概要

総合的な速度管理

- 適切な最高速度規制の実施
- 交通安全教育、啓発活動の推進
- 交通事故抑止に資する速度取締り
- 安全・安心な道路交通環境の整備

幹線道路	市街地道路	生活道路
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用実態や道路環境を踏まえた適切な速度規制 ○ 取締り重点路線を中心とした速度違反取締りの実施 ○ 白バイ・パトカーの警戒活動による遵法意識の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 速度規制標識等の明確化による速度抑制 ○ 事故発生実態等に基づく速度取締りの実施 ○ 重点的な警戒活動による速度抑制と規制遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゾーン30プラスの推進や道路整備等による速度抑制 ○ 可搬式速度違反自動取締装置による速度取締りの実施 ○ ボランティア等との見守り活動を通じた速度抑制